

西陣憩いの郷だよ



Photo by Fumio Okita

巣立ちのあとで

理事長 相馬 隆人



今春、当施設ではふたりの新卒者を職員として迎えました。ひとりは北海道から、もうひとりは沖縄からです。ふたりとも京都にまったくの地縁なく、京都への憧憬が就職の動機だと聞きました。十代で親元を離れた子供たちを案じておられる親御さんのお気持ちを推察すると、ふたりとも早く職場になじんでくれることを祈るばかりです。

私事ですが、私の長男も高校卒業後すぐに何の地縁もない南国の街の学校に進学しました。進学後どのように暮らしているのか心配なのと、急に家からいなくなってしまうと寂しさで私の心は乱され続けました。長男が進学して3年目に、私が仕事でその街を訪れたことがありました。時間を合わせて落ち合い、街を案内してもらい一緒に昼飯を食べました。長男はその街で生き生きと青春を謳歌しておりました。別れ際、じゃあまたね、と笑って椰子の街路樹が連なる大通りをゆっくり去って行きました。彼の後ろ姿が消えるまで見送った時に、南国の明るい陽光が彼の背中をキラキラ照らしていた光景は今も忘れることができません。京都への帰りの列車にそのまま乗車した後、私は不覚にも涙が止まりませんでした。その日ようやく私は、長男が私の元を巣立ったのだと納得したのでした。

ひとは人生で何度か巣立つ機会があるのだと思います。今春入職したふたりの親御さんにも、後から振り返って子供たちがいい巣立ちをしたと感じていただければと願ってやみません。

エビデンスある介護サービスの (根拠)

～2019年度事業計画～

- 日常生活上の事故は起こるものと思定し、「事故が起こるかもしれない」「このままだとこういう事故が起こってしまうのでは？」という予測する力を養っていきます。
- 看取りケアを通してより良い最期を迎えられるよう努めます。
- 入居者様にとっては心安らからで尊厳ある最後を迎えていただけるよう、また家族様にとつては大切な思い出の日々となるよう、施設内の各職種と連携し、入居者様・家族様の御意向に添えるケアの提供と環境を整えます。
- 家族様の看取りに対しての不安や淋しさを、少しでも緩和できるように関わりを持っていきます。
- (工)人材育成と職員の定着
 - ユニットリーダーを外部研修や内部研修に積極的に参加させるとともに、リーダー以外の職員にも積極的に外部の研修に参加させ、人材の育成を図ります。
 - 職員が、自分自身をセルフケアできる職場環境を作るとともに、気持ちよく安心して働くことができる取組・企画を提供し、定着を促進します。
 - (3)ケアプラン作成担当部門の目標
 - サービス担当者会議に、入居者様・家族様が参加していただくことで、御希望を取り入れた具体的なプランの作成に努めます。
 - (3)生活相談担当部門の目標
 - 入居者様の高齢化、重度化が進んでいることから、多様化する家族様の要望に向き合い、充実した生活相談となるよう取り組んでいきます。
 - ページ等を通じて情報を積極的に発信していきます。

提供と健全な施設運営に向けて

社会福祉法人 北野健寿会
特別養護老人ホーム 西陣憩いの郷

新しい「令和」の時代の幕が開かれました。おかげさまで特別養護老人ホーム「西陣憩いの郷」は、新元号スタートと同じ5月1日に開設15年目を迎えることができました。開設以来、多くの方に御利用いただき、「人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供すること」を施設の基本理念として、日々の運営の中でその実現に努めているところであり、これまでの御支援に厚くお礼申し上げます。

今年度においても、年々、厳しさを増す施設運営の収支バランスを図りつつ、施設設備の維持・管理や施設運営の基盤となる介護人材の確保・育成に向けた取組を着実に展開し、きめ細かいサービスで心豊かな日々を送っていただけるよう職員が一丸となつて次のとおり取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

1. 経営の安定化に向けた取組

良好な介護サービスを提供するためには、運営の基盤となる収入の確保と人材の確保・育成が重要となります。今年度も極めて厳しい状況下ではありますが、以下のことに重点を置いて取組を進めてまいります。

(1) 経営の安定化に向けた取組
国は、本年10月に実施される消費税率引き上げ(8%↓10%)にあわせて介護報酬の引き上げ(消費税対応改定)を行うとともに、経験・技能のある介護職員をメインターゲットとした新たな処遇改善加算を創設するといった方向性を示しています。

本施設の新年度予算についても、10月の消費税率引き上げを加味して編成

しました。

新年度の事業活動収入は約5億7,000万円、事業活動支出は約5億2,000万円を見込んでいます。

福祉医療機構と市中銀行への借入金の返済や空調設備更新工事等により、資金収支残高は前年度と比較して約2,800万円程度減少する見込みです。

施設の定員と介護報酬については上限があることから、介護報酬の加算部分への積極的な取組をはじめ、効率的な施設運営を行い、健全な収支バランスの確保に努めてまいります。

(2) 地域に根差した取組
本施設が将来にわたり、定員を確保し、施設経営の安定化を図っていくためには、介護サービスの向上はもとより、特色を生かした息の長い地域貢献の取組を通じ、地域社会・地域の皆様との信頼関係を築くことが重要です。

このため、平成30年度に発足させた施設職員で構成する「地域貢献プロジェクト」チームの活動を推進していきます。

2. 介護人材の確保と定着に向けた取組

本施設では、開設以来、より充実した介護サービスを提供するため、各フロアに市が定める配置基準に1名を上乗せした介護職員を配置し、介護体制の充実を図っています。

しかしながら、介護職員については、全国的に深刻かつ慢性的な人材不足が続いていることから、その確保が課題となっており、本施設もその例外ではありません。

特に、近年は新卒者、既卒者の就職説明会やハローワークの就職斡旋から採用に至る機会が激減しており、本施設においては必要な職員を確保するた

(4) 栄養管理担当部門の目標
● 楽しい雰囲気の中で食事を摂っていただくことにより、一日の生活の中に楽しみを持つていただけるようになります。

● 個々の嗜好に配慮し、旬の食材を使用し、見た目にも美しく見えるよう工夫し、五感を刺激しながらゆつたりと食事を味わっていただきます。

● 常に利用者様の個性や身体状況を把握し、施設内での情報交換・連携をしっかりと行い、一人ひとりに合った栄養計画に基づいた食事提供に努めます。

(5) 医療看護担当部門の目標
● 施設医をはじめ職員が常に連携・協働し、入居者様の体調変化に速やかに対応するとともに、快適な室内環境を整え、病気の予防と症状の緩和に力を入れていきます。

● 自然排便が確保できるよう、医師と介護職・管理栄養士等と共同で、それぞれの知識を活かし研究し工夫していきます。

● 施設内の清掃、職員の手洗いの励行、マスクやゴム手袋の着用を中心に、感染予防対策に力を入れていきます。

● 褥瘡予防に向け、全入居者様に「褥瘡対策に関する計画書」を作成し、早期発見・予防に努めます。

● 誤薬については、命の危険に関わる重大事故と認識し、引き続き「声出し・指差し確認」を徹底することをとおして服薬事故予防対策をさらに強化します。

● ヒヤリ・ハット事例を活用し、関係部門内での情報共有を図り、再発防止に努めていきます。

め、求人活動の見直しや人材紹介会社等の活用を図っております。

また、職員の定着と就業意欲の喚起を図るため、2019年度から職員給与及び特別有給休暇の充実を図るとともに、新たに職員のキャリアアップを支援する本法人独自の資格取得資金貸付制度を設け、人材の育成に取り組むこととしました。

本年10月に導入が予定されている国の新たな処遇改善加算の活用も含め、介護人材の確保・充実に積極的に取り組んでまいります。

3. 介護の質の向上を目指す各部門の取組

入居者様の人権を守り、安全で快適に、その人らしく生活していただくため、ユニットケアを推進し、個別ケアサービスの質を向上させ、職員一人ひとりが高度な専門的知識・技術を習得するために各部門で次のとおり取り組みます。

(1) 介護担当部門
ケアの質の向上を目指し、専門知識や技術の習得に努めます。

- 常に「何故そうするのか?」という思いと根拠をもってケアを行うようにします。
- 個別ケアを向上させるため、アセスメントを丁寧に行い、介護が効率優先や一斉介護になっていないか常に見直します。
- 認知症に対する正しい知識を習得し、虐待や不適切なケアがなされないよう努めます。
- (イ)事故の無い、安全で快適な暮らしを提供します。
- 危険予知トレーニングを活用して、職員の「気づき」や「察し」を高められるように教育します。

事務長就任のご挨拶



事務長 栗山 令
このたび4月1日付
けで事務長に就任しま
した栗山令と申します。

初めての業務で戸惑いの連続ですが、施設のこれまでの実績に安心することなく、さらなる発展に向けて少しでも寄与できればこれに過ぎるものはないと考えています。

縁あって当施設にお世話になりました。常に出会いを大切に、御入居者様の健やかな生活と御家族様の笑顔のため、微力ではありますが全力を尽くしてまいりますので御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

職員紹介



介護支援・生活相談担当
泉 早苗
令和に改号された5
月1日付で特養の生
活相談員となり、『西陣

憩いの郷」の一員として仕事をさせて頂いております。泉早苗と申します。青森県の三戸郡五戸町という人口2万人弱の田舎町から京都に引っ越し、地理も言葉もわかりませんが、みなさまからたくさん教えて頂き、入居者さんのみなさまの暮らし、地域を知り、早くお手伝いができるようになりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



★ 翔鷗小学校との 交流会

4年生のみなさんが、
紙芝居などを披露して
くれました



桜にちなんだお菓子などが
たくさん並びました



好きなお菓子や佃煮な
どを選んで買われて
いました



出張デパート



特別養護老人ホーム 西陣憩いの郷

行事のご報告

2019.2月～5月



★ 書道レク

みなさん真剣に
取り組まれていました!



ひな人形を愛でながら、
甘酒やひなあられをいた
だきました



★ ひなまつり茶話会



今宮祭



5月5日の神幸祭を観覧
させていただきました

平成31年2月3日 「節分」



- ◆恵方巻
- ◆鯛の甘露煮
- ◆ふろふき大根
- ◆二色そうめんの清まし汁
- ◆節分卵ボーロ

平成31年3月3日 「ひな祭り」



- ◆ちらし寿司
- ◆茶碗蒸し◆豆乳五目しんじょ
- ◆三色そうめんの清まし汁
- ◆ひなあられ
- ◆三色ゼリー

平成31年3月21日 「春分の日」



- ◆筍ご飯
- ◆鶏肉のトマトはちみつ煮
- ◆鯖の梅醤油焼き
- ◆かぶらのあんかけ
- ◆ブロッコリーコンソメ煮
- ◆小花麩の清まし汁
- ◆しば漬け

平成31年4月29日 「昭和の日」



- ◆豆ご飯◆ぶりの香味焼き
- ◆ミンチカツ
- ◆ふぎとうす揚げの当座煮
- ◆春キャベツと海老の炒め物
- ◆筍の清まし汁
- ◆さくら漬け

令和元年5月12日 「母の日」



- ◆筍ご飯◆鱈フライ
- ◆鶏肉の煮物 山椒風味
- ◆じゃがいもの甘煮
- ◆菜の花の炒め物
- ◆なめことカイワレ大根の清まし汁
- ◆つぼ漬け

平成31年1月14日 「成人の日」



- ◆外注菓子「椿」(金時)

令和元年5月5日 「こどもの日」



- ◆柏餅

栄養課企画レク



桜もちづくり

4月24日



桜もちをユニットで入居者の方に作っていただきました



チョコレートケーキをユニットで作成しました



バレンタインケーキづくり

2月14日「バレンタイン」

2019年度 入社式と新入職員研修

新入職員を迎えました！



▲研修の様子
た、前年度入職した職員の成果発表(一年の振り返り)も行いました。成果発表は、各々の奮闘が伺えます。

去る4月1日(月)、2019年度入社式を挙行了しました。今年度は、例年の専門知識や技術の習得に努める研修に加え、介護力向上班(先輩職員)による高齢者疑似体験等も行いました。また、



▲人間関係論の講義
発表で、新入職員には先輩職員がとて目標となったと思えます。今後は、ご利用者一人一人の個別ケアを考えた

用者一人一人の個別ケアを考えた介護のプロとして成長できるように、研修を実施し、指導を行っていきたく思います。

▲先輩職員が担当した研修

介護主任
杉山久美子



▲入社式にて

新入職員からのご挨拶



小谷 未来

私は幼い頃から祖母が大好きで、その祖母の影響で介護の道へ進むことに決め、今年3月に高校を卒業し「西陣憩いの郷」へ入職しました。介護の仕事は大変なこと

とも多くあると思いますが、入居者様やご家族の方と信頼関係を築いていくように努めていきたいと思っております。社会人となった今日この日の気持ち忘れずに、日々仕事に励みたいと思っております。



船越 光人

今年3月に北海道の高校を卒業し、京都に来て「西陣憩いの郷」で働くことになりました。その方らしい生活を実践するユニットケアの介護の中でも、特にその方の「想い」を大事にした介護をしていきたいです。

分らないことや大変なこと、辛いこともきつことあると思えます。ですが入居者の笑顔を見ると自分も笑顔になります。そして小さなことでもありがたうという言葉をいただくことに嬉しくやり甲斐を感じます。介護の仕事をしていく上で、入居者様に自分のことを知っていただけるように、たくさんコミュニケーションを取っていくことから頑張ります。



▲消火器の使い方を学びました



▲ユニットに設置されている消火用散水栓を使った初期消火訓練



防火訓練を行いました

3月27日、京都市上京消防署の方に来ていただき、30年度2回目となる防火訓練を行いました。今回は3階フロアから夜間に出火したという想定での訓練です。事務所に備え付けられている防災操作盤や、非常時の館内連携、消火器の使い方などを学びました。

地域貢献プロジェクト

報告と今後の企画

地域貢献プロジェクトリーダー 人見 玲

平成30年4月より発足した「地域貢献プロジェクト」です。その名の通り、地域に対して何かできないか？地域と一緒に何かができないか？という声からの発足でした。



◀清掃活動をしています

職員も入居者の地域の住民である、という考えの下に、地域に開かれた施設を目指すべく、周辺学区の清掃活動を週一回行っています。そしてまだ試験的ではありますが、「介護無料相談会」と称し、地域の方とお茶を飲みながらお話しをする催しを3月に行いました。



▶プロジェクト会議の様子

今後は相談会の拡大、近隣学区のイベントに参加する等計画しています。今後の活動を随時報告したいと思います。

2019年 7月～9月 行事予定

(予定は変更になる場合があります)



- ★七夕
- ★イベントボランティア
- ★書道レク



- ★夏祭り
- ★地藏盆
- ★書道レク



- ★100歳のお祝いの会
- ★書道レク



- ★乾隆運動会見学
- ★外出レク
- ★書道レク



西陣憩いの郷では、音楽イベント等のボランティアさんを随時募集しています。担当までお問い合わせください。

空調工事完了の報告とお礼

4月中旬より施行してまいりました、館内の空調設備更新工事につきまして、5月末をもちまして無事完了いたしました。工事期間中、皆様にはご迷惑やご不便をお掛けいたしました。ご協力頂き誠にありがとうございました。引き続き、入居者の方がより過ごしやすい環境整備につとめてまいります。(事務局)

表紙写真の解説

『朝焼けのモアイ像』 ／イースター島

巨大な石の像「モアイ」がある神秘の島、イースター島。

この絶海の孤島内には10000体のモアイ像がありますが、何のために作られたのか、どうやって運ばれたのか、そのほとんどが謎に包まれたままです。

考古学者たちが提唱する諸説は仮説にすぎず、その神秘性があります。この島を魅力的にしています。

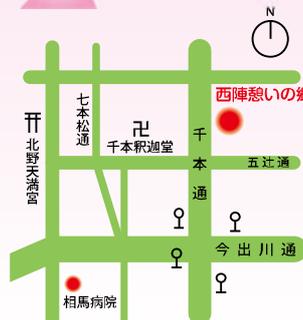
理事 置田 文夫

編集後記

新元号「令和」になり、はじめての西陣憩いの郷だよりをお届けします。理事長が巻頭文で触れておりますように、4月には10代のフレッシュな新入職員を迎え新しい年度のスタートを切りました。100歳を超えていらっしゃる入居者の方とはなんと80歳以上の歳の差が！幅広い年代の方が生活されたり、働かせていただいている、憩いの郷の楽しい行事の様子など、引き続きこのおたよりでお伝えしていきたいと考えています。

(担当) 西川輝美

◆施設のご案内◆



京都駅方面より…市バス 206・50 系統
四條河原町方面より…
市バス 46・59・201・203 系統
「千本今出川」バス停下車徒歩 3分

〈お問合せはこちらまで〉
〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1
TEL 075-431-1513
FAX 075-431-1514
E-mail: nishijin-ikoi@kitano-kenjukai.or.jp